市の人口

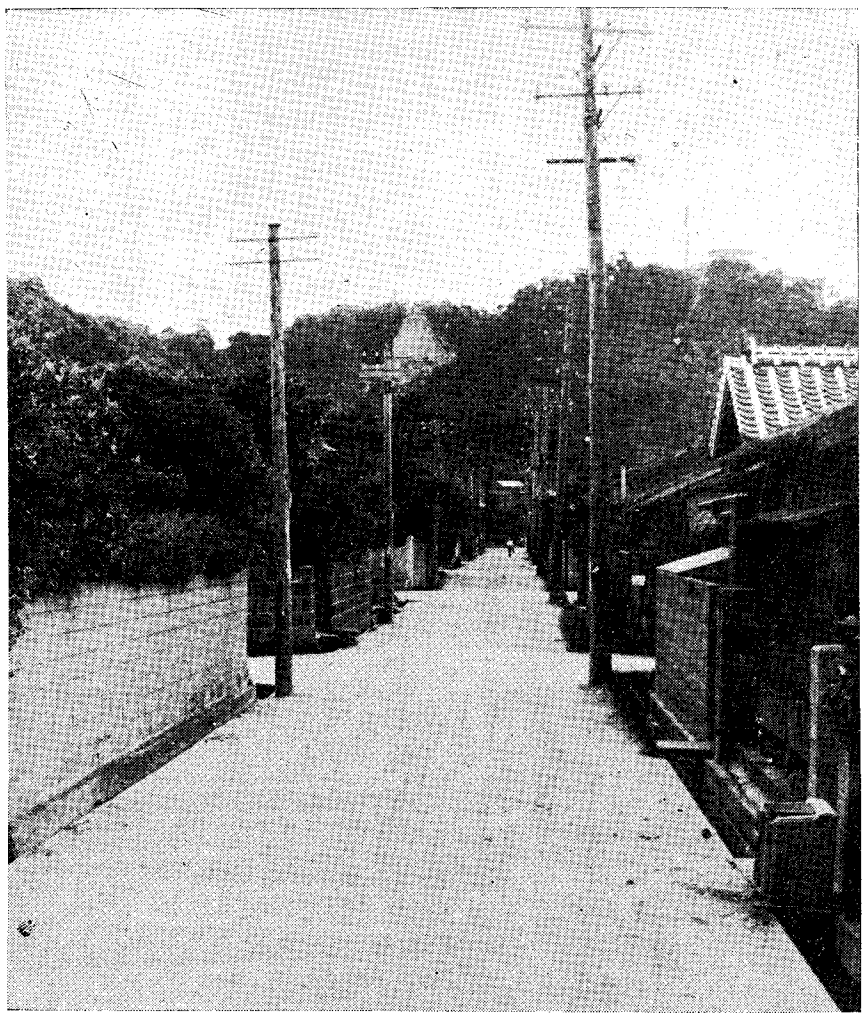
人口	男	149,557
	女	164,872
	計	314,429
世帯数		83,755

発行所
鹿児島市秘書課
編集人 発行人　永井　隆治
南日本新聞社印刷局

鹿児島市政だより

「町を美しくする週間」入選標語

◇ぼくも君もできるよきれいな町づくり
◇美しい町づくりあなたもひとりの責任者
◇町の美化ぼくらの家からぼくの手で
◇町づくりみんな笑顔で朝そうじ



わたしたち
鹿児島市民は
みんなの力をあわせて
美しい町を
つくりましょう

町を美しくする週間
7月7日～13日

ちらすな・よごすな・こわさない・さない・ここ

私たちは誰でも、美しい住みよい環境の中で生活したいとのぞんでいます。きれいに整備された道路や公園、ゴミや汚物のない川は、見た目にも美しいものです。また、ハエや蚊のいない生活はどんなにすばらしいことでしょう。そこで、七月七日から十三日まで、全市をあげて「町を美しくする運動」を始めることになりました。この運動は、すべての家庭や職場、道路や河川などから、不潔なゴミをとりのぞき、蚊やハエのいない衛生的な環境をつくると同時に、町全体を美しくととのえて、見た目にもきれいな町をつくろうという運動です。みんなで力をあわせて、すみずみまで、清潔な美しい町をつくりましょう。

まず家庭や職場から
七日は全市一斉清掃日

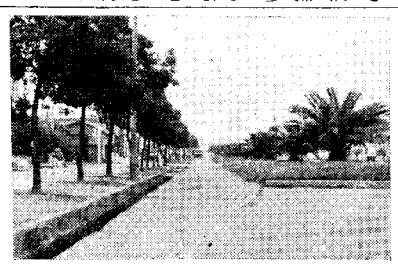
家庭美化の日
七月七日（日）
この日は、「環境衛生デー」にもあたりますので、全市民の参加する全市一斉清掃日ときまりました。市内の全家庭は、午前七時から打上花火を合図に、各家庭のまわりや、道路、下水ミゾなどの一斉清掃を行ないましょう。
一方、市長、助役をはじめ、市の職員は市内の清掃状況を視察することになっています。

施設改善の日
七月八日（月）
各家庭のチリ箱、便所、犬小屋などの衛生施設、農村地区では、畜舎やタイ肥舎などの施設を改善整備しましょう。
とくに、チリ箱、便所、鶏小屋などは、蚊やハエの発生源となりますので、こわれたものは修理し設備の不完全なものは、思い切って改善しましょう。

河川側溝美化の日
七月九日（火）
最近、川やミゾが汚なくなって都市の美観をそこなっています。清掃課では、毎日、川やミゾの清掃をやっていますが、後から後からゴミや石コロが捨てられています。川やミゾへ、ゴミを捨てるのは、絶対にやめましょう。

公園美化の日
七月十日（水）
市内には、児童公園や運動公園など約七〇の公園があって、市民の良きいこいの場となっていますが、一部の不心得な市民によって施設がこわされたり、公園がチリステ場になったりしています。
そこで、この日には、各地区の区内にある公園の一斉清掃をおこないます。一方、市の職員は、寺山や城山などの風致公園の一斉清掃と、施設の整備をおこないます。

道路美化の日
七月十一日（木）
道路は、人や車がとおるためにつくられた公共のものですから、一部の市民によって占有することはできません。
そこで、商店街では、各通り会を中心に、道路の不正使用をやめ、きれいに整とんしましょう。とくに、道路上の陳列棚、商品、自転車などの置放しをやめ、また、道路上での荷作り、荷ほどきなどの作業をやめましょう。
住宅街では、道路上の庭木や草花をとりはらい、また、薪やいろいろの物を置かないようにしましょう。



職場美化の日
七月十二日（金）
自分の家の中にくらべて、職場の清掃は、なかなか、ゆき届かないものです。
この日を機会に、各官公庁、会社、工場などの職場では、かねて手の届かない所まで、きれいに掃除しましょう。よくどこの職場でも、うず高く積み重ねた書類の山を見かけますが、不用なものは、なるべく処分しましょう。また倉庫・物置・便所、建物のまわりなどを入念に掃除しましょう。

街路樹愛護の日
七月十三日（土）
手入れのゆき届いた街路樹は実にきれいなものです。市でも、町の緑化に力をいれ、年々、街路樹も整備されていますが、せっかく大きくなった街路樹も、心なき人々によって、いたみつけられています。
皆さんの家の前にある街路樹は自分の庭木と思って大事にしましょう。とくに、よっぱらいや子供たちがいたずらする時には、みんなで注意しましょう。また、街路樹の下で火をたいたり、ゴミや石コロなどをすてないように注意したいものです。

三ない運動を提唱

この「三ない運動」は県婦人会で決議された、本年度の活動目標です。
これら、ひとつひとつのことがらが、ほんとにしっかり守られたら、町はどんなにきれいになることでしょう。
ところが、私たちのまわりを眺めてみますと、街路にしても、家庭や職場にしても、美しい住みよい町というには、まだまだ、はずかしい状態です。
わたしたちも、婦人会の方々とともどもにみんなの力で、この「三ない運動」をおしすすめることにしましょう。

ぼくも君もできるよきれいな町づくり

……みんなで美しい町・明るい町・住みよい町を……

7月7日（日）家庭美化の日
7月8日（月）施設改善の日
7月9日（火）河川側溝美化の日
7月10日（水）公園美化の日
7月11日（木）道路美化の日
7月12日（金）職場美化の日
7月13日（土）街路樹愛護の日

――よごすなちらすな町も名所も公園も――

成果あがる ゴミの時収集制定

五年計画で全市へ実施

昨年末から、一部地域で始められたゴミの定時収集制度は、大きな成果をあげ、市民の間でも、大へん好評です。

このゴミの定時収集制というのは、各世帯が、従来のゴミ箱のかわりに、持ち運びのできる容器を準備し、それぞれ定められた時間に定められた場所に持ち出しておけば、清掃車が定期的に巡回してゴミを集めて行く方法です。

この制度は、現在のゴミ処理の方法として、最も衛生的で能率的な制度だと言われており、諸外国や、日本でも東京をはじめ、各都市で採用されつつあります。鹿児島市では、上荒田町の全部、下荒田、郡元、上之園、高麗、武、山下の各町の一部で実施されており約五千六百世帯が利用しています。

この定時収集にあたる車は、パックマスターという特殊な清掃車で、オルゴールをならして走ります。現在、各地区とも、週二回、地元と話し合って決めたコースを巡回しています。

なお、これに使う容器は、フタのある持ち運びのできるものならなんでも使用できます。また、共かせぎの世帯や、留守をなさる場合は、指定の場所に出していただけばよいわけです。

さて、それでは、どういう点がすぐれているのか、関係者の声を聞いて見ましょう。

上荒田町岩上洋子さん（主婦）

今まで、ゴミ箱にはハエがたかりウジがわき、その上、犬や猫にひっかきまわされたり、悪臭を放って大へん不愉快な思いをしていましたが、今はもうそんな心配はいりません。それに、道路から大きなゴミ箱がなくなって、町なみが大へんきれいになりました。

角之上清掃課長

清掃作業の能率が上ったことはもちろんですが、何よりも大きな収穫は、市民の皆さんのゴミに対する認識が深まった事です。今まで、何でもかんでも無造作に捨てていた方が、よく分類し捨てるようになったため、自然に、"ゴミの減量運動"になっています。

なお、現在、申込みが殺到していますが、清掃車の関係で、今すぐ実施するわけには参りません。現在、定時収集五カ年計画をたて検討しておりますが、順次、受入体制をととのえて、将来は、全清掃地域に実施する予定です。

飼犬のエチケット

犬はつないで

犬は、最も身近かなペットとして、多くの人々にかわいがられています。また、単に愛玩用としてだけでなく、番犬や猟犬、警察犬として人間社会に貢献しています。

しかし一方、飼主の不注意によって、社会に大きなめいわくをもたらしています。

とくに市街地では、花だんや庭をあらしたり、たまには、人にかみついたりします。また、所かまわず脱糞して、ハエの発生源となったり、ゴミ箱をあらして、不衛生な環境をつくっています。

そこで、正しい犬の飼い方をよく守って、人にめいわくをかけないようにしたいものです。

◉犬はなるべくつなぐように心がけ、放し飼いはやめましょう。

◉運動や散歩につれ出す時は、必ず ビニール袋 を用意し、脱糞のあとしまつをしましょう。外国では、飼主の常識となっているそうです。

◉必ず犬の登録をすませ、予防注射を受けましょう。

◉生まれた子犬を捨てるのはやめましょう。都市の野犬は、すべて飼主の不注意によるものです。

やすいゴミ箱をあっせんします

鹿児島市衛生自治団体連合会では、やすいゴミ箱（コンクリート製）をあっせんしています。

これは、ゴミの定時収集制を始めた地区のゴミ箱がいらなくなったため、他の地区で活用しようというものです。ご希望の方は、市環境衛生課内の衛自連事務局へお申込みください。値段は、つぎのとおりです。

コンクリート製　大　二〇〇円
〃　中　一五〇円
〃　小　一〇〇円

ゴミの上手な捨て方

分類と自宅処理を

ゴミは、大きく分けて、台所から出る厨芥（ちゅうかい）と雑芥に区別されます。雑芥は、さらに紙・ワラ・ボロなどのように、燃えるものと、ガラスや金属類などのように、燃えないものとに分けられます。

そこで、ゴミを捨てる時は、これらをまず分類して、少しでも、ゴミを少くすることが大事です。清掃課では、ゴミの減量運動をすすめるために、つぎのことがらを呼びかけています。

◉台所から出る野菜クズやたべ残りは、水分が多くてくさりやすいので、ポリエチレンかビニールの袋に入れ、口を輪ゴムでとめるようにしましょう。悪臭を放つこともなく、カやハエの発生も防げます。

◉紙クズやボロなど燃えるものはできるだけ燃やしましょう。

◉ガラスや金属類は、非常に危険ですから、ほかのものと区別しておきましょう。できたら、町内会あたりで、危険物入れをつくりましょう。

◉ゴミの中には、まだ活用できるものが、たくさんあります。空ビン・空カン・新聞雑誌などはクズ屋さんに売りましょう。

◉台所から出る野菜クズやたべ残

国民年金の保険料を納めましょう
38年度第1期分(4.5.6月分)は7月末まで
便利な納付組合へ加入しよう

ゴミ箱 あれこれ

〈夏は西瓜、冬はみかん〉

ゴミ箱ほど、市民生活と直結しているものはありません。どこでも、清掃業務にたずさわる人々は、西瓜やみかんが豊作になると頭をかかえます。

それは、ゴミ箱が西瓜やみかんの皮で一杯になり、作業計画が狂ってしまうからです。しかもこれは、量はかさばる上に、水気を含んでいるので、なお厄介です。同じような事が イワシやサバについても言えます。これらの魚は、その半分以上がゴミ箱へ直行します。

〈世相を反映するゴミ箱〉

ゴミ箱は、その時代の経済状態や世相を、良く反映しています。終戦前後は、ゴミも貧弱?になり、わずかな野菜クズ位のもので、その量も、現在の十分の一位にすぎませんでした。ところが現在では、消費ブームのためゴミもゼイタク?になり、空ビン、古靴、新聞雑誌等、中にはラジオやテレビ、タタミや自転車まで捨てられています。

〈家庭をあらわすゴミ箱〉

ゴミ箱は、その家庭の様子を正直に物語っています。キ帳面な家庭のゴミ箱は、量も少く、ホントに不用なものだけ捨てられています。頭の良い泥棒は、先ずゴミ箱を調べてから入るといいます。

〈チリもつもれば〉

市内から出るゴミの量は、一日に約一〇〇トン。この中には、金属類や空ビン、紙クズやボロなど、お金にかえられるものが毎日、二万円近くもあります。これが、一年間には、ナント七百万円にもなります。

"町を美しく"の標語きまる

伊敷小の地福君ら入賞

市内小中学生から募集していた「町を美しくする週間」の標語がきまりました。ことしは皆さんの関心が高く、応募数は、小学校九九一通、中学校三三五、合計一三一六通で、昨年の約八倍でした。入選者は次のとおりですが、この方々には、七月八日午後二時から、市長室で表彰式を行ないます

▽一等　伊敷小四年　地福　勤
「ぼくも　君も　できるよきれいな町づくり」

▽二等　武小五年　藤田　満子
「美しい町づくりあなたもひとりの責任者」

▽二等　松原小三年　池松千賀子
「よごすな　ちらすな　町も名所も公園も」

▽三等　西田小五年　田中講史
「町の美化　ぼくの家からぼくの手で」

▽三等　伊敷中一年　萩原　睦
「町づくり　みんな笑顔で朝そうじ」

▽三等　西田小六年　常盤和則
「かやはえが　少なくなったぞいま一歩」

▽佳作　清水中二年　今村俊二
「がっちりと　みんなで組んで町の美化」

▽佳作　松原小六年　日高百合子
「手をつなぎ　うら町も表通りも美しく」

▽佳作　甲東中三年　橋口憲一郎
「あなたのまわり　ちらすなよごすな町の美化」

▽佳作　南小六年　中村敏和
「みんなの力で作ろう　緑の並木道」

ひどいゴミの不法投棄

みんなで注意しましょう

さいきん、ゴミを川や海、公園や空地などに捨てる不心得者が、めだって多くなりました。このようなゴミの不法投棄は見た目にも汚ないばかりでなく、環境衛生上も好ましくありません。

とくに、これから伝染病の季節に入りますし、蚊やハエの発生源ともなりますので、お互いに充分注意したいものです。

なお、会社や工場などで、たくさんのゴミが出たり、建築工事場などで、木切れ、古瓦、セメントクズが出た場合は、必ず、指定のゴミ捨て場に運んでください。

ゴミ捨て場は、紫原台地の奥の紫原じん芥棄却場です。

市長をかこんで

美化懇談会

7日・午前7時半・平田公園

七月七日は、全市一斉清掃日となっていますが、市長、助役も、午前七時半田公園に集り 附近の清掃状況を視察します。その後、七時半から、同公園で市長を囲んで美化懇談会を開きます。これは「どうしたら町をきれいにできるか」というテーマで、皆さんのご意見やご要望を、聞こうというものです。お近くの方々の多数のご参加をおまちしています。

なお、市長、助役などは、この会が終ったら、市内各地の清掃状況を視察しながら、紫原のじん芥棄却状況を視察することになっています。

知らせ

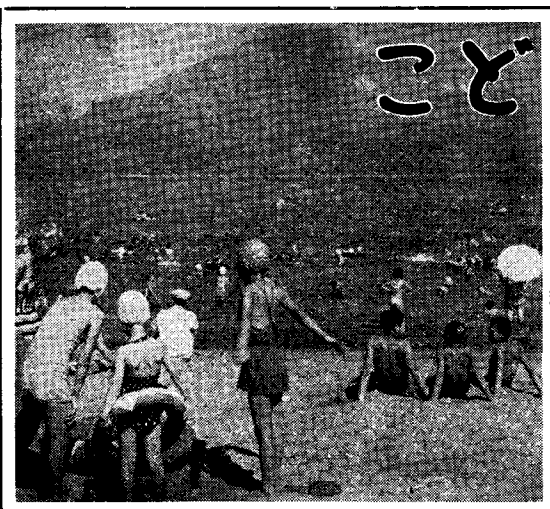
東郷　青児小品展は七月二十五日まで市立美術館で開催

無料　法律相談日は七月十日と七月二十二日市民相談室

夏季　洋画講習会は二十六日から三十日まで市立美術館

こどもを水難事故から守りましょう

——水泳の心得——



（磯海水浴場）

○きめられた所で泳ぎましょう。
○必ず大人と一しょに行きましょう。
○監視員の指示にしたがって、危険地区には入らない。
○泳ぐ前に準備運動をしましょう。
○天気の悪い時や、夜の泳ぎはやめましょう。

（天文館プール）